

■四国地方整備局関係 補正予算の概要

平成25年度国土交通省関係補正予算については、「好循環実現のための経済対策」（平成25年12月5日閣議決定）に基づき、「競争力強化策」、「復興、防災・安全対策の加速」及び「低所得者・子育て世帯への影響緩和、駆け込み需要及び反動減の緩和」の3分野に重点化した所要の経費及び公共事業の契約の前倒しとしての国庫債務負担行為（ゼロ国債）が計上されました。

配分に当たっては、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、老朽化対策、事前防災・減災対策などを中心に、高い緊急性と効果が認められる事業に配分を行います。

四国地方整備局関係の補正予算概要

配分対象事業費	500億円

競争力強化策	98億円
直轄 18億円、補助 80億円	
復興、防災・安全対策の加速	340億円
直轄 116億円、補助 224億円	

国庫債務負担行為（ゼロ国債）	62億円
直轄 61億円、補助 1億円	

- 南国芸芸道路（香南のいちIC～香南かがみIC）が3月9日（日曜日）に開通
～国道55号のバイパスが形成され、南国芸芸道路の利用が大変便利になります。～
【土佐国道事務所】

国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所が整備を進めている高知東部自動車道南国芸芸道路のうち、香南のいちIC～香南かがみIC間(延長2.2km)を春の観光シーズンに先駆け3月9日（日）に開通します。

～ 今回の開通による主な整備効果 ～

- 効果1：南国芸芸道路が香南のいちICで国道55号につながり、約9kmのバイパスを形成することで、高知市内と高知県東部の移動がスムーズになり利便性が向上します。
- 効果2：南国芸芸道路への交通の転換により、並行する国道55号の慢性的な

渋滞が緩和されます。

効果3：災害に強い道路ネットワークが確保され、緊急時の避難場所が確保されます。

1. 開通日 平成26年3月9日(日)
2. 開通区間 自：香南のいちIC(高知県香南市野市町東野)
至：香南かがみIC(高知県香南市香我美町徳王子)
3. 開通延長 2.2km

■須崎港湾口地区防波堤が完成

～津波による浸水被害を軽減するとともに、港内の静穏度が向上します～

【高知港湾・空港整備事務所】

国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所にて整備を進めてきた須崎港湾口地区防波堤(延長1,420m)の完成に伴い、3月15日(土)に竣工式が行われます。

～湾口防波堤による主な整備効果～

効果1：港内への津波流入を抑制し、津波の水位や流速を低減するとともに、水際線への到達を遅らせるなど浸水被害を軽減することができます。

効果2：港内水域の静穏性が増し、荒天時にも安全に係留、荷役を行うことができるなど利便性が向上します。

1. 式典日時 平成26年3月15日(土)13時00分～14時00分
2. 開催場所 須崎市立市民文化会館(須崎市新町2丁目7番15号)

■松山外環状道路インター線(井門IC～古川IC)が3月16日(日曜日)に開通
～松山市内の渋滞解消に向けた、第一歩が始まります～

【松山河川国道事務所】

国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所・愛媛県・松山市が協同で整備を進めている松山外環状道路インター線(以下、外環インター線という。延長4.8km)のうち、井門IC～古川IC間の自動車専用道路(延長1.2km)を3月16日(日)に開通します。

1. 今回区間（井門IC～古川IC）の開通による主な整備効果
 - ・古川IC方面から四国内で最も利用交通量の多い松山ICに直接乗り入れが可能となり、利便性が向上します。
 2. 外環インター線全線（井門IC～余戸南IC）の開通（平成28年度予定）による主な整備効果
 - ・平成29年度に開催されるえひめ国体の会場である松山中央公園と松山IC間の所要時間が約10分短縮され、愛媛国体への支援が期待されます。
 3. 外環全線（井門IC～松山空港IC（仮称））の開通による主な整備効果
 - ・外環全線※が開通することで、松山ICから松山空港及び松山港間の所要時間が約20分短縮され、交通拠点間のアクセス性が向上します。
 - ・交通の分散により松山市内の渋滞緩和が期待されます。
 - ・松山港や企業・集積エリアへの物資の円滑な輸送が期待されます。
- ※外環全線とは、外環インター線と外環空港線をいう。

- 1) 開通日 平成26年3月16日(日)
- 2) 開通区間 自：井門IC（愛媛県松山市北井門2丁目）
至：古川IC（愛媛県松山市井門町）
- 3) 開通延長 1.2km

- 国道11号大内白鳥バイパス（東かがわ市川東～西村）が3月30日（日曜日）に開通～東かがわ市内の渋滞緩和に向けた初めての部分開通です～

【香川河川国道事務所】

国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所では、渋滞緩和及びインターチェンジ（IC）アクセス向上等を図るため、平成12年度より国道11号大内白鳥バイパス（延長9.2km）の整備を進めています。

このたび、東かがわ市川東～東かがわ市西村間（延長1.2km）を、3月30日（日）に初めて部分開通しますのでお知らせいたします。

1. 今回（延長1.2km）の部分開通による主な整備効果
 - ・国道11号の交通が分散するとともに、白鳥大内ICへのアクセスルートが増え、利便性が向上します。
2. 全線（延長9.2km）の開通による主な整備効果
 - ・国道11号の慢性的な渋滞が緩和され、地域の交通環境が改善します。
 - ・手袋をはじめとした地域産業拠点から、白鳥大内ICへのアクセス性が向上します。

- 1) 開通日 平成26年3月30日(日)
- 2) 開通区間 自：香川県東かがわ市川東
至：香川県東かがわ市西村
- 3) 開通延長 1.2km(暫定2車線)

引き続き平成26年度の開通(延長2.1km)を目指し工事を推進しますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。